

ある高級マンションの一室にチャイムが鳴り響く。
ドアを開けると、そこには見知らぬ二人の女が
立っていた。
啞然としていると、いきなりスタンガンを
押し当てられてその場に倒れ込んだ。
気がついたときには、M字開脚に緊縛されていて
身動きができないことに驚愕する。



見知らぬ二人の女がニツコリと微笑んで
喋りだした。

「初めまして、恵美さん。私はあなたが不倫した
相手の奥様から依頼を受けた復讐屋です」

「簡単に言くと、不倫した悪い女にお仕置きをする
代理人ですの」

自分の置かれた状況を理解し始めた恵美。

恵美の目の前に、詩織は
ある物を見せつけた。

まずこれ
なんだけど……
ぎょう虫
検査シール

分かります？



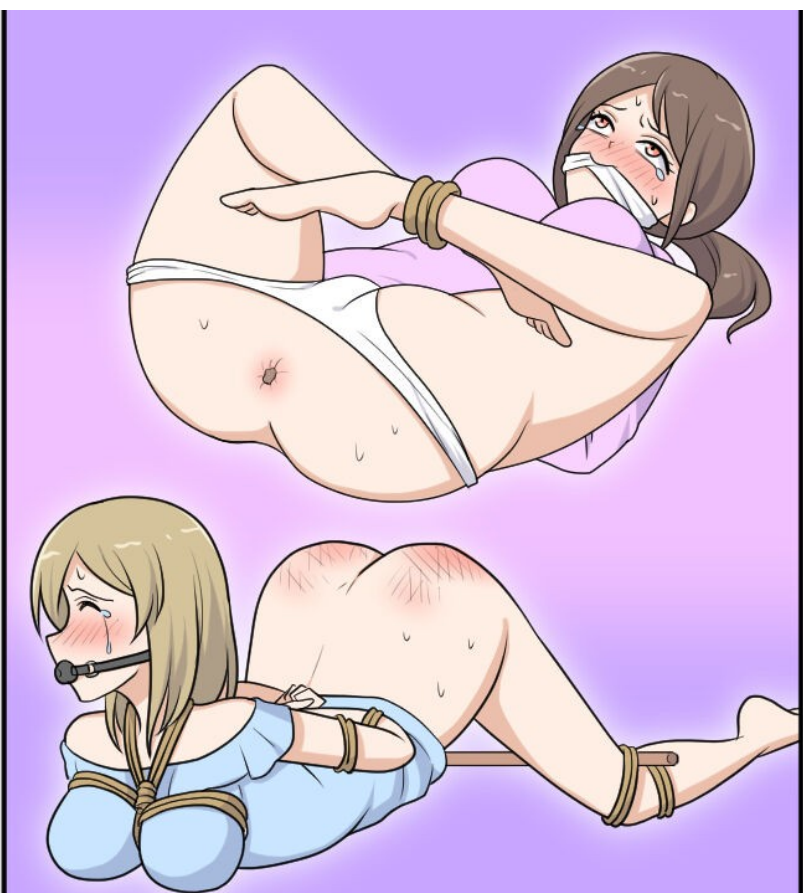
そういいながら、ペリペリと
シールをはぎ取った。
詩織は、過去にぎょう虫検査のイジメを
受けてからトラウマとなり、復讐の
ターゲットには必ずぎょう虫検査を
することになっている。



悪女に対しての「ぎょう虫検査」

この瞬間、詩織はなんともいえない満足感に浸るのだ。

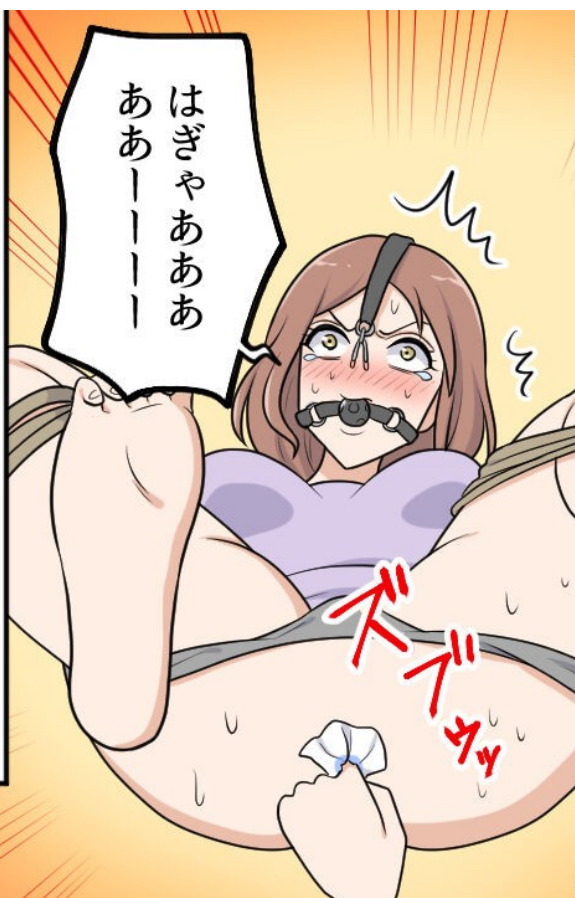
最初は親友の真登香にお願いして、自分自身がイジメられる事で満足していたが、それだけでは満足出来なくなってしまった。そこで思いついたのが世の中にいる「悪い女」へのお仕置き……復讐。



不倫に浮気、恨みや嫉妬に騙しあいなどと、この世の中には復讐代行という闇の需要が大きく、自分のトラウマを重ね合わせたのだ。詩織と真登香は二人で裏の闇稼業へと足を踏み入れ、「悪い女への復讐代行」という仕事を立ち上げたのだった。

全ての始まりは中学時代に受けた
「ぎょう虫検査」によるトラウマが原因だ。

「じゃあ、ぎょう虫検査の二回目の検査ね」
そう言う人と人差し指をぎょう虫シールの上から密着させ、肛門内に容赦なく
根本まで突っ込んだ。



泣こうが喚こうが、ズブズブと深くまで
指をつっ込み直腸まで到達する。
経験したことのない異物挿入に
悶絶する恵美。



あはは、
二日目は
相変わらず
容赦ないわね

よくも散々イジメてくれたわね
どれ程の、屈辱を
私が受けたか
思い知りなさい



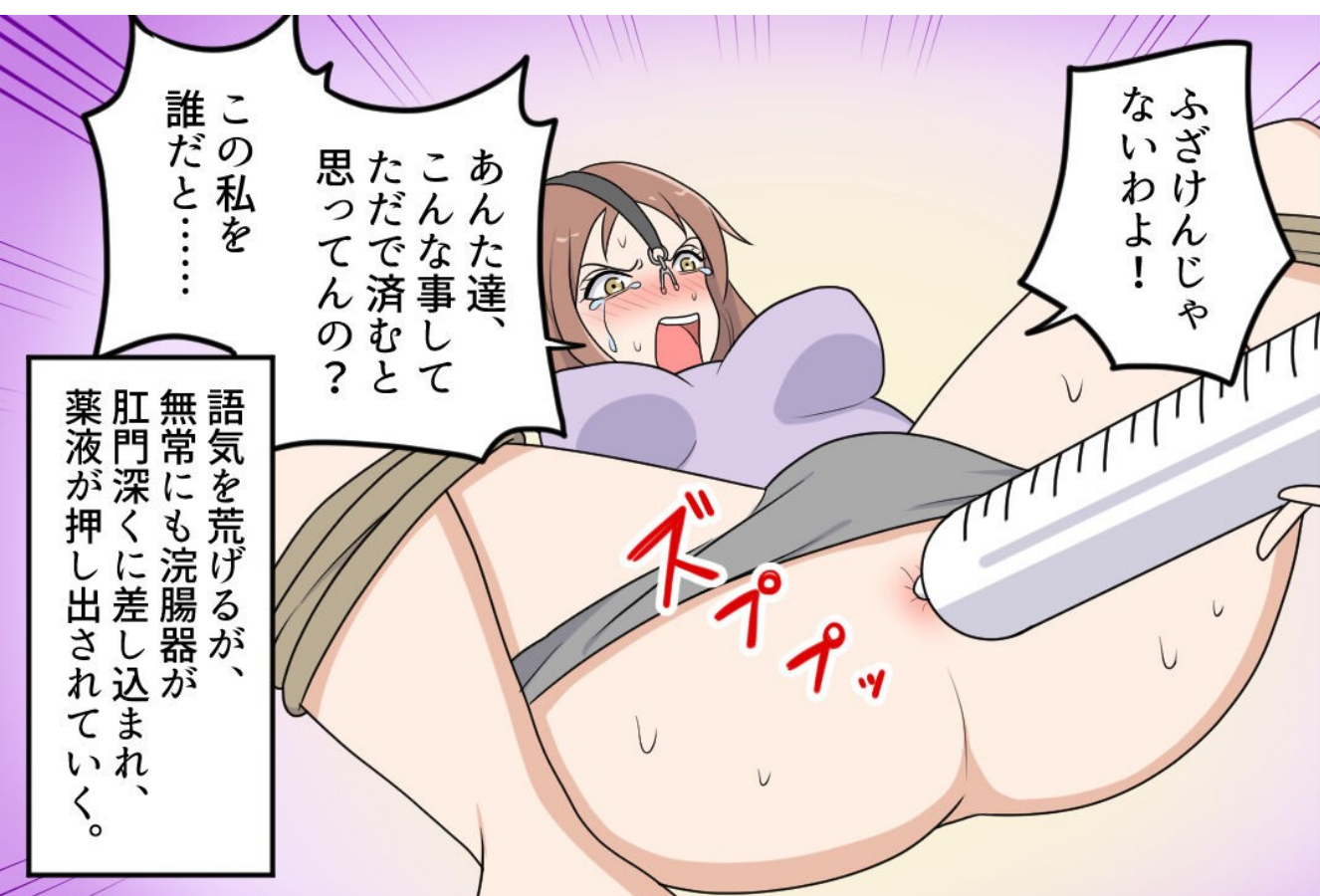
当時のいじめっ子を無関係の
恵美に投影して、仕返しを
するように責め立てる。

指を抜き差しする度に恵美は体を
小刻みに震えさせ悲鳴をあげた。
その姿が面白くて、指を二本に増やし、
肛門の中で開いたり閉じたりした。

じゃあ、無様な姿を
撮影する為に
浣腸しましょうね

注射器型の浣腸器を取り出して、
これ見よがしに笑顔で見せつける。
イチジク浣腸を十個以上、洗面器に
入れて浣腸器で吸い上げた。

「うわ、イチジク十個はキツツイわよ」
「今回は不倫の償いだからね、これくらいやらないと依頼人の奥様も満足しないわよ」
何をされるか理解した恵美は必死に抵抗する。



ふざけんじや
ないわよ!

あんた達、
こんな事して
ただで済むと
思ってるの?

この私を
誰だと……

語気を荒げるが、
無常にも浣腸器が
肛門深くに差し込まれ、
薬液が押し出されていく。

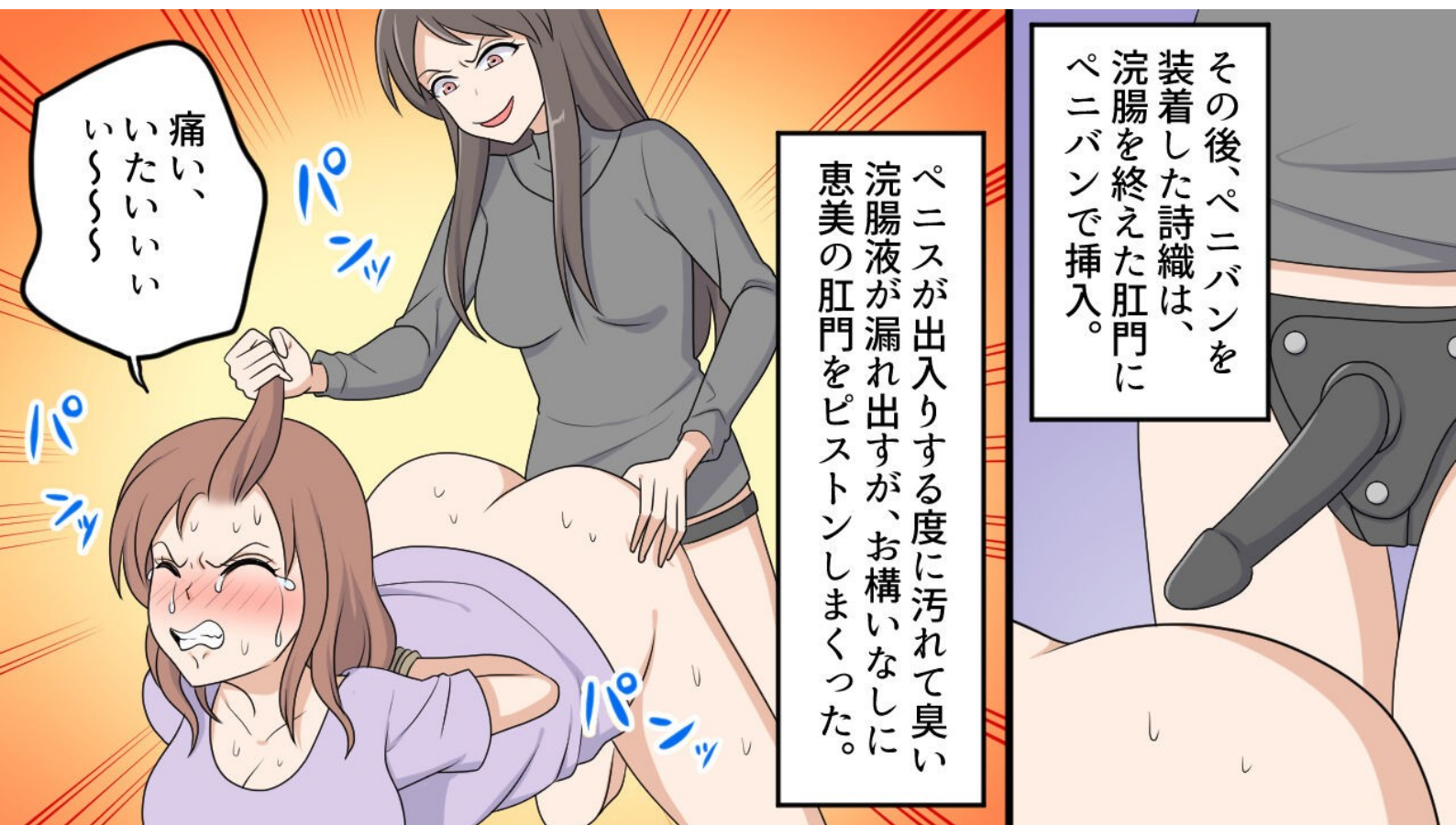


ジュルル……お腹の中に生暖かい浣腸液が
ドクドクと流れ込んでいく。
ヒクヒクと蠢く尻の穴が、まるで助けてと
叫んでいるみたいに見えて笑えてきた。

その後、ペニバンを
装着した詩織は、
浣腸を終えた肛門に
ペニバンで挿入。

ペニスが入り出す度に汚れて臭い
浣腸液が漏れ出すが、お構いなしに
恵美の肛門をピストンしまくった。

痛い、
いいいい
いっす



ズボズボとアナルセックスの苦痛に悶絶するが、猿轡を咥えさせられて声にならない。必死に許しを請うが無視をされ、ペニバンで犯されるその無様な姿を真登香がビデオで録画している。



排泄物で茶色に濁った薬液が太ももに垂れ流れていく。一気に部屋が臭気で溢れかえった。

お腹、痛い、もう、許してー



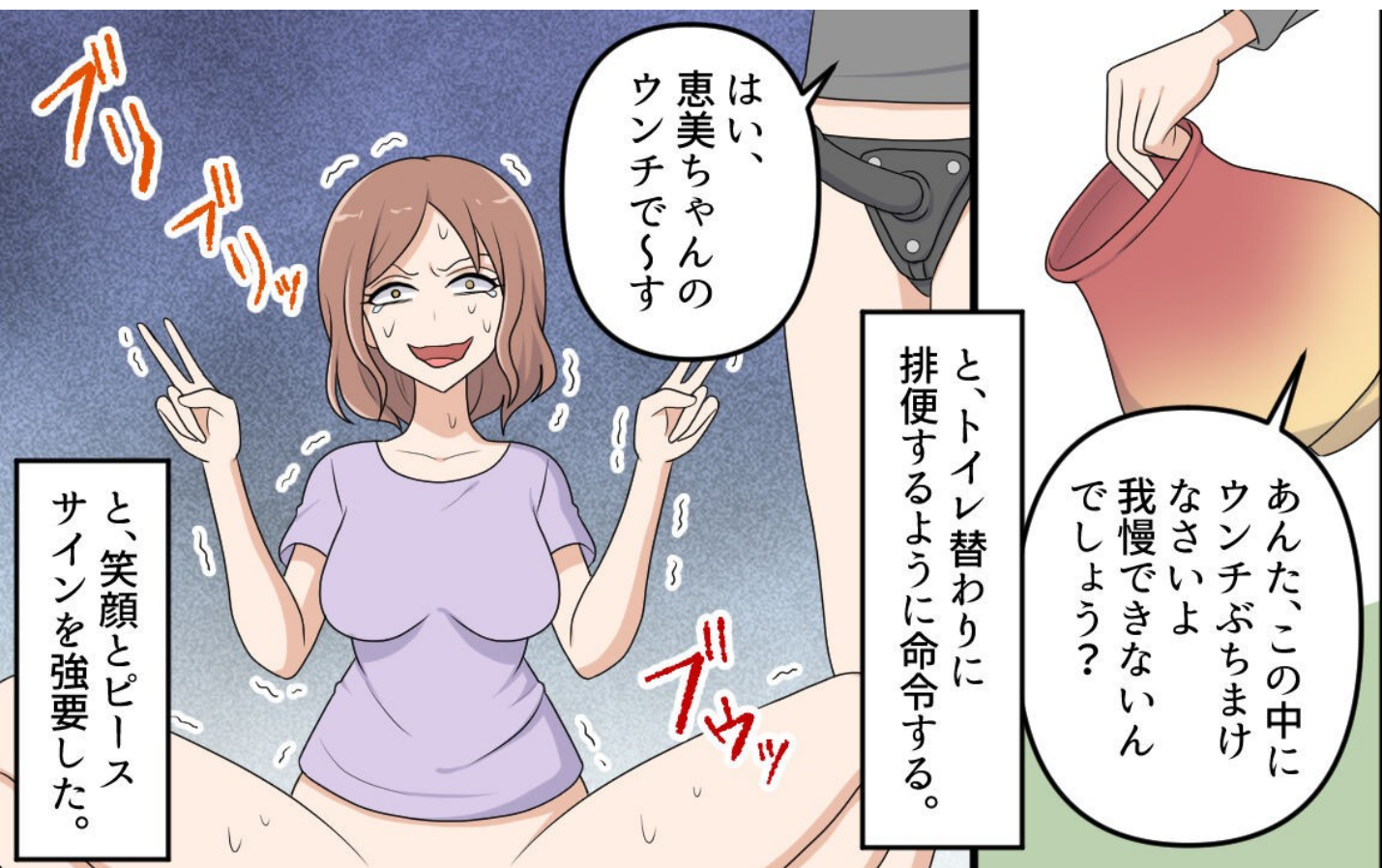
拷問と呼ぶのが相応しいSM責めが続いた後、高級品として飾ってある壺を持ってきた。

あんだ、この中にウンチぶちまけなさいよ我慢できないんでしよう？

と、トイレ替わりに排便するように命令する。

はい、恵美ちゃんのウンチです

と、笑顔とピースサインを強要した。





あんだ、
ウンチ出ちやい
ますううって
言いながらしなさい

おならの音が
小さかったら、
最初っから
やり直すからね

う……
ウンチ、
出ちやい
ますうう!!

ブリブリ、ブボオオオオとみつももない音を
響かせながら、高級な壺をウンチで汚させた。
詩織はこのような復讐代行を稼業としている
のだ。

時と場合によって、強引に押し入り
力づくで強行する事もあるが、
ジワジワと追い詰めていく手法も
詩織は好んだ。
特にセレブ気取りのプライドが
高い女には、ジワジワと精神的な
羞恥を与えるのが効果的だ。

こ、こんな事……
私を脅すつもり
なの？

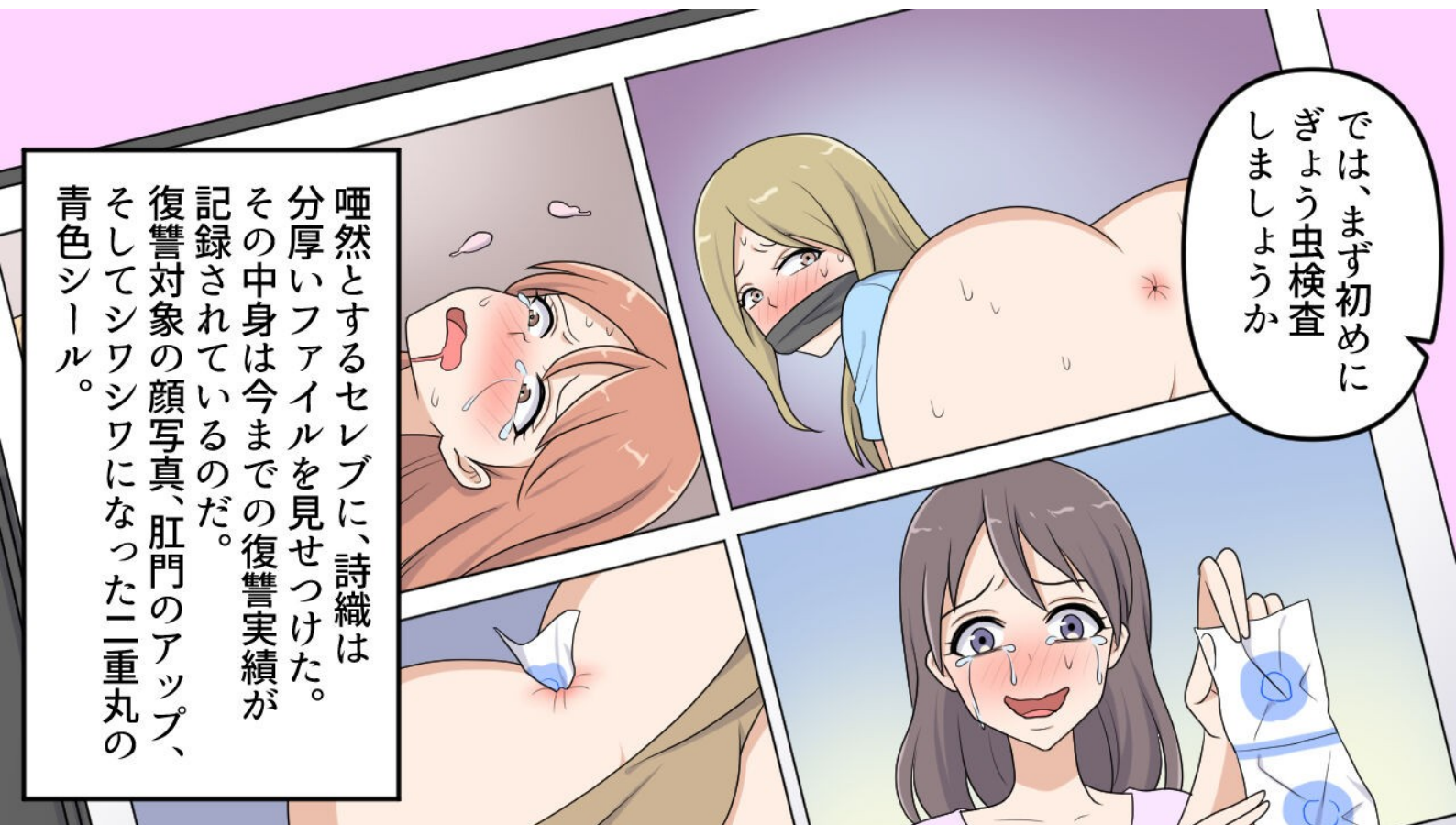
奥様、証拠は掴んで
いますので……
逃げられませんよ？

この押し問答がたまらない。
時間を掛けて駆け引きをしたところで、
不倫の証拠を握っている以上、最後は
こちらのさじ加減次第。

なんでもします
だから、
お願い……

では、まず初めに
ぎょう虫検査
しましょうか

啞然とするセレブに、詩織は
分厚いファイルを見せつけた。
その中身は今までの復讐実績が
記録されているのだ。
復讐対象の顔写真、肛門のアップ、
そしてシワシワになった二重丸の
青色シール。



私、昔ね……
不良達のイジメで
クラス全員の前で
ぎょう虫検査
シールをされた事
あってね

ゲリッ

プル

プル

それがトラウマで、
悪い女にはまず
これで復讐するの

まだ事態を飲み込めていないセレブは
呆然としているだけだったが、
少しすると理解したのか、
ワナワナと震えて口ごもっている。



「私、イジメっ子達に人前で浣腸された事もあるの。思春期の何も知らない初心な少女が大きなオナラしながらウンコする姿まで見られたのよ。この辱めを少しでも知ってもらわないとね」
そう言うのと詩織はイチジク浣腸を取り出す。

奥様みたいな綺麗なセレブは大きなオナラが出るように、たっぷり浣腸して撮影してあげる



あはは、死ぬほど恥ずかしいわよ

失神しそうな目眩に襲われて、頭の中は真っ白になった。

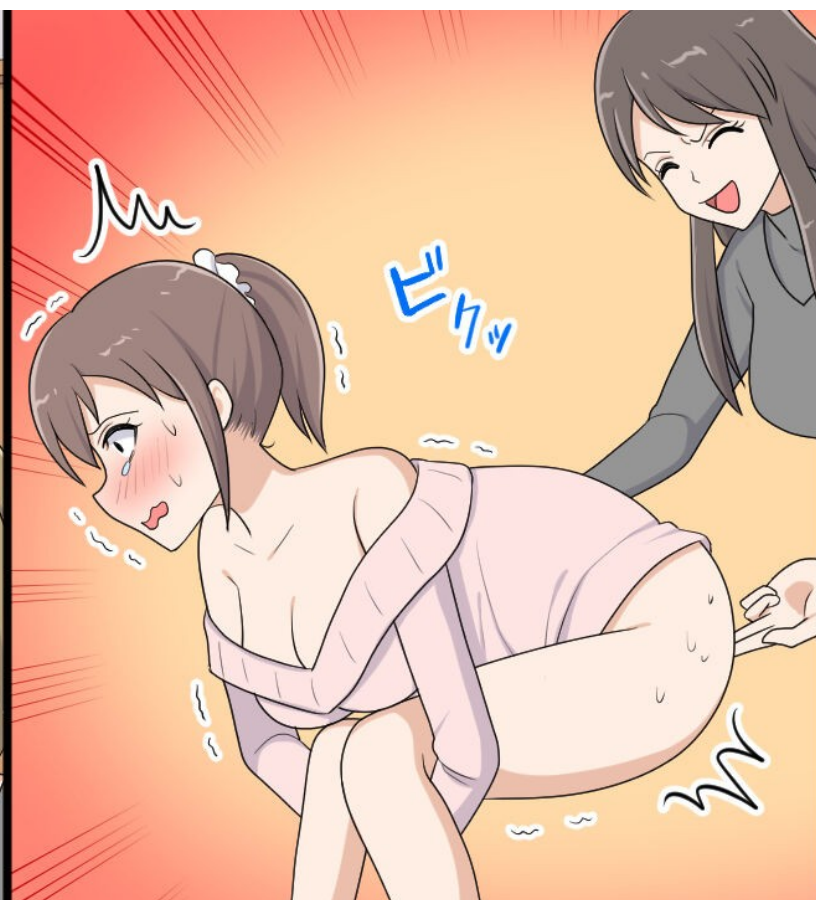
セレブは残酷な浣腸宣告にショックを受け、両手で顔を覆い、涙で溢れている。しかし、弱みを握られている以上、例外なく詩織に逆らう事は出来ないのだ。

泣いてないで
さっさと
肛門出して、
シワ広げろよ

今までに経験したことのない羞恥に、頭の中は混乱するばかりだが、逆らう事は出来ない。

ぎょう虫
検査が
出来ない
だろう？

セレブが自ら広げた肛門に向かって詩織は「二日目の検査でうす」つと、ぎょう虫検査シールを貼付ける。「ひぎいい」つとセレブの無様な反応を堪能した後、



じゃあ、二日目の検査でうす

2回検査しないとね、悪い虫が潜んでいたらいけないわ



今度はセレブの肛門の奥深くに人差し指が押し込まれる。
ぎょう虫検査シールが直腸内に埋まり、根本まで指が挿入され、更に指がピストンする。

うぎいいつい、
ぎゃあああ

悶絶するも、詩織の指先は容赦しない。

ねえ、この次は何するんだっけ、奥様

やめて、
いやああ

ねえ、
何するの

激しく指をピストンさせると、泣き声交じりで口を開いた。

ズ
ホッ

ズ
ホッ

ズ
ホッ



浣腸……
して下さい

え？
どこに？

自分から辱めて欲しいと
言わせてからが詩織の
お楽しみタイムだ。

お尻の……
穴に……
浣腸して
ください

お尻の穴？
臭くて汚い
ケツの穴だろ？
言い直せよ

セレブはもう抵抗する
気力もなくなっていた。

パ
アンツ

私の……
臭くて汚い
お尻の穴に……
浣腸をして
ください

1000CCの注射器型の
浣腸にタツプリと強烈な
グリセリンを満たす。

「浣腸の時間ですよ」
心の底から楽しそうに、
狂気に満ちた笑顔のままで……
泣き声を押し殺し、
浣腸を受けるしかない現実。

ああ、いや、
いやあああ……

ドクドクと直腸内に流れ込む浣腸液に悶絶
するも、この後はセレブのお尻を掘りまくる
アナルセックス制裁が待っている。

よく言えたわね、
ご褒美よ

チャップ……



ひぎいいい、
痛い、痛いよ

ひぎいいい、
じゃないわよ
気持ちいいです
って言いなさい

ぎ、ぎもち……
いいれす……

パンッ

あら、気持ち
いいの？
じゃあこうやって
パンパン犯して
あげるわ

パンッ
パンッ

悪女の絶叫を聞くのはたまらない。
さんざんペニバンで犯されて、ウンチ
まみれの浣腸液が飛び散っていた。
「ケツマンコ、ぱっくり開いてんじゃん。
よかったわね。これに懲りたら不倫なんて
やらないように」

うつ伏せでピクピクと痙攣しながら、
汚い排泄物を垂れ流すセレブ婦人。
この光景は何度みても飽きない。
そしてこれからも、私の過去、トラウマの
傷が癒えるまで闇の仕事は続くのだ。